

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年8月26日（金）

2 確認箇所

6号機タービン建屋及びコントロール建屋地下階

3 確認項目

- (1) 6号機タービン建屋滞留水の状況
- (2) 6号機コントロール建屋地下階電気品室内床面からの地下水のにじみの状況

4 確認結果の概要

(1) 6号機タービン建屋滞留水の状況

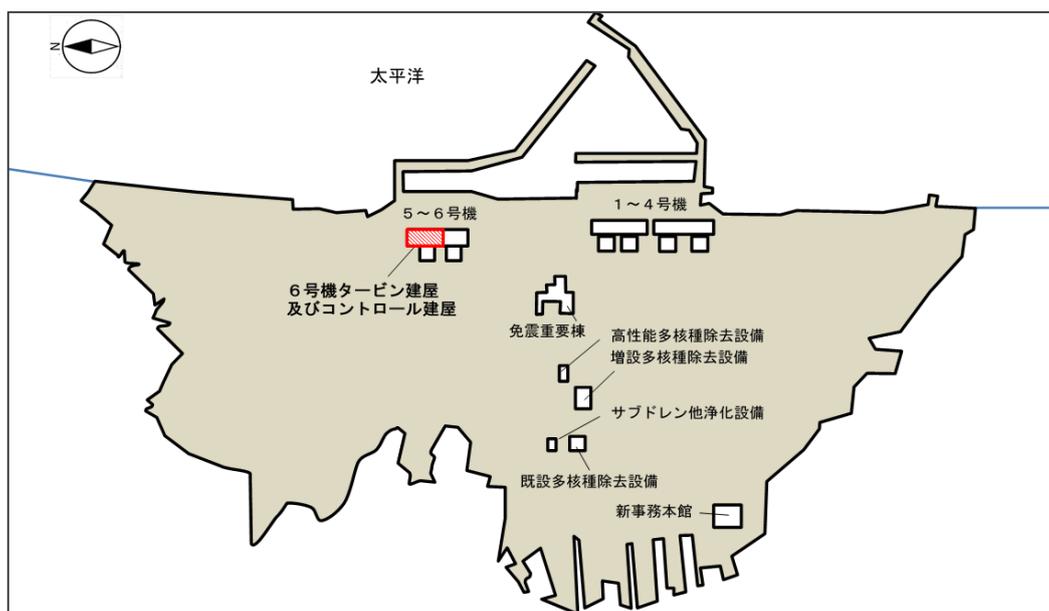
東日本大震災以降、5・6号機建屋周辺の地下水をくみ上げるための設備であるサブドレン設備が稼働を停止していたことから、5・6号機建屋周辺の地下水位が高い状況が継続している。このため、5・6号機建屋地下には常に地下水が流入している。

今般、5・6号機サブドレン集水設備復旧工事[※]が完了し、令和4年3月28日から同設備の運用が開始されていることから、6号機タービン建屋滞留水の状況を確認した。（図1）（前回確認：令和3年4月19日、令和4年5月13日）

- ・6号機タービン建屋地下階南西側において、前回確認（令和4年5月13日）時と同様に地下水が流入していた。（写真1）
- ・6号機タービン建屋地下階の滞留水の状況を確認したところ、前回確認時（令和3年4月19日）と比較して、20～30cm程度地下水位が下降していた。（写真2）

※5・6号機サブドレン集水設備復旧工事

5・6号機建屋への地下水流入を抑制するため、東日本大震災以降、稼働を停止している5・6号機建屋周辺のサブドレン設備を復旧し、集水した地下水については中継タンクを経由して既存の1～4号機サブドレン集水タンクに移送する設備を整備する工事であり、13基のサブドレンピットを復旧し2基の中継タンクが新規に設置された。なお、当該工事は令和2年（2020年）9月から開始された。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
地下水流入箇所
の状況
(6号機タービン建屋地下階南西側)
(令和4年5月13日撮影)



(写真1-2)
地下水流入箇所
の状況
(6号機タービン建屋地下階南西側)
(令和4年8月26日撮影)



(写真2-1)
6号機タービン建屋地下階の滞留水
の状況 (令和3年4月19日撮影)



(写真2-2)
6号機タービン建屋地下階の滞留水
の状況 (令和4年8月26日撮影)



(写真 2-3)
6号機タービン建屋地下階の滞留水の
状況 (令和3年4月19日撮影)



(写真 2-4)
6号機タービン建屋地下階の滞留水の
状況 (令和4年8月26日撮影)

(2) 6号機コントロール建屋地下階電気品室内床面からの地下水のにじみの
状況

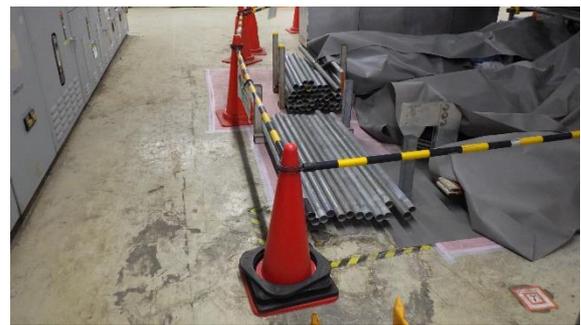
令和2年9月18日のパフォーマンス向上会議^{*}にて、6号機コントロール建屋地下階の電気品室床面に亀裂とにじみ程度の湧水があることが報告されていることから、現場の状況を確認した。(図1) (前回確認：[令和3年4月19日](#))

- ・ 前回確認時に溜まり水の量の減少と若干の湿りを確認したが、今回は湿りなども確認できなかった。(写真3)
- ・ 該当箇所には資材が保管されていた。(写真3)

^{*} 東京電力が実施する不適合を審議する会議。安全性・信頼性に関する重要度及び社会への影響を考慮して不適合を3つのグレードに分類し、不適合管理を行っている。本件はグレードⅢ(修正処置などを伴う事象)に分類されている。



(写真 3-1)
電気品室床面の湧水の状況
(令和3年4月19日)



(写真 3-2)
電気品室床面の湧水の状況
(令和4年8月26日)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。